

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 3月 4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502256		
法人名	有限会社 松永メディコ		
事業所名	グループホーム敬愛		
所在地	〒729-0104 福山市松永町5丁目9番-11		
自己評価作成日	令和5年1月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502256-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502256-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年2月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>連携医療機関が近く、体調の変化などに対応できる。その為重度介護度の利用者の受け入れができる。看護職員も常勤勤務している。介護職員も喀痰吸引等研修をして県に登録しているため経管栄養、喀痰吸引の必要な利用者に対応できる体制がある。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員が利用者と共に和気あいあいと決して否定せず、不安なく、感謝の言葉を忘れずに暮らせる家庭的な雰囲気の中で、生活出来るよう実践に取り組んでいる。重度化した利用者を受け入れ、協力医療関係機関の医師の定期的な診療や看護師の健康管理、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士の専門リハビリの対応など、365日介護職員が寄り添う支援をしている。食事は一人ひとりの食事形態に合わせた食事を提供している。入浴は、立位保持が困難な利用者も、家庭用浴槽で安全面や不安感に十分配慮し、2人介助で好みの温度でゆっくりと湯舟に浸かり、ゆったりとした気分を味わって貰うような入浴支援をしている。事業所は多方面からの情報や職員の提案など検討し反映に繋げている。</p>
---

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「ともに笑い、ともに泣き、安らぎと信頼のもと、楽しく明るく、自分らしく生活できるように、お手伝いさせ頂きます」の事業理念をスタッフと共有して利用者主体の介護を目指している。	事業所理念をエレベーターの中、通用口の3か所に提示し、利用者本位で支援するうえで、不安にさせない、否定しない、感謝の気持ちを忘れないを目標に目指して、職員間で情報共有している。毎日の申し送りや毎月のミーティング、委員会の時に話し合い検証を行い、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の催し（JA祭り、案山子祭り、ゲタリンピック）に参加して、事業所での花火大会を開催する時は、地域の住民に参加を呼びかけている。現在は、コロナ対応により外部との接触を控えている。	事業所で行う花火大会には、近隣住民の方に参加の呼びかけや地域行事の亥の子祭り、JA祭り、ゲタリンピックには車いすで参加をしている。今後は災害時に近隣連携協力体制の策定を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議にて地域住民の自治会長を通じて認知症利用者の介護について意見交換をしている。現在は、コロナ対応により外部との接触を控えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	情報交換をし、社会の情勢（コロナなど）を聞いて参考にしたり、当施設の取組みを紹介をしている。	家族、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、市担当職員などの参加で開催を行い、現在は書面の開催である。出来事、グループホーム会議・委員会、行事、勉強会、目標達成実施状況を報告している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険課等のメールの中でわからないことは、直接電話で聞いたり、出向いて説明していただいている。当施設で新しい取り組みをするときには、助言をもとめている。年1回運営推進会議への参加をお願いしている。	市介護保険課に新型コロナウイルス感染症予防対策や介護保険制度上の確認、相談や助言など不明な点を積極的に連絡を取り、信頼関係の構築に努めている。市主催の研修に参加し、情報などミーティングで職員に伝える取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	取り組んでいる。月1回会議の中で検討会をして個別利用者への対応を議論している。	身体拘束をしないケアの研修で習得し、毎月のミーティングで身体拘束委員会を開催し、職員間で意見を出し合い正しく理解し、個別ケアに取り組んでいる。スピーチロックについても職員間で注意し合える体制である。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	声掛けの仕方等些細なことがエスカレートしていくと思われるので、お互いに自制できる環境作りと指導を行っている。月1回の会議では、身体拘束委員会を開催し研修、話し合いをしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用できる入居者様がないので、活用に至っていないが、高齢者虐待防止法の研修時に学ぶ機会を、設けている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	行っている。質問や疑問については、都度受け付けている。毎月ご家族あてにお手紙を送付している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居時に苦情、要望についての当施設連絡先と市への連絡先を明記している。	利用者は日頃の様子で、家族はリモート面会時、電話などで要望を把握している。得た情報など個々の記録に記載し共有している。要望で歩いて動きたい(トレーニングバイク設置)、食べたい物など迅速に対応が出来るよう努めている。家族が運営に意見できる場が少ない事から匿名記入で意見箱を設置している。	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回ミーティングの他その状況が発生したときに都度検討している。スタッフが入居者様主体の観点での意見を提案したときは、尊重し話し合っている。</p>	<p>毎月のミーティングや日頃の支援をする中で意見や提案、アイデアが出しやすい環境整備体制をしている。タオルからペーパータオルに変更になるなど職員からの提案が反映された。</p>	<p>管理者との個別面談を設け、職員が個々に目標、課題を掲げる事で意識や意欲、スキルの向上に繋がり、意見やアイデア、提案が出しやすくなり、反映に活かされるよう期待します。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>子育て、親の介護に理解を示し希望休や勤務変更、勤務時間の変更をしやすい環境を整えるよう努めている。資格取得の為の援助がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>月1回の勉強会を事業所内で行っている新規職員には、教育係をつけている。認知症症状の学習を会議で繰り返し行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>福山西部包括支援センターの催し、研修等に参加し、同業者と意見交換をしている。介護福祉士会主催の研修には、なるべく参加している。それらを持ち帰り月1回の会議で共有している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に新しい環境に対する不安や要望、前施設での様子、自宅で困っていたこと、健康状態など具体的に聞き取りを行いケアプランを作成している。入居者様の変化をスタッフ間で申し送り等で共有するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者様の入所前のご様子や困っていること等ケアマネとの面談でお話を聞いている。入居後は入居者様の御様子を毎月のお手紙で伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時に歯科往診、散髪、かかりつけ医への受診等、当施設サービスに関わらず必要であることをお伺いしてご家族の協力体制のもと、どのように行うかお話をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様にとって当施設が居場所になれるよう。スタッフ、他入居者様との関係性の中でできる役割をお願いしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、衣替えをお願いしている。コロナ中の為オンライン面会をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会禁止の状況が続いているので、ご家族やご親せきとの面会ができるようオンライン面会を導入している。毎月のお手紙でご本人様の状態や様子をお伝えしている。	コロナ禍や利用者の重度化で馴染みの人や場との関係継続は困難である。そのような中で感染対策を取り必要時の訪問歯科、散髪屋の来訪やオンライン面会、毎月の手紙で日頃の様子や状態を報告する事で途切れない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様の性格、関係性を考慮して支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後の相談など現在ないため行っていないがいつでも行う準備はある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族に要望を聞き都度できる限り行えるよう努めている。	利用開始時に利用者、家族に意向や要望を聞き、困難な利用者には家族や日頃の様子、仕草で汲み取っている。傾聴する際、分かりやすい言葉や利用者に寄り添う接し方で思いの把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時生活歴を聞いて取り組めるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	会議などで話し合いその人に即した生活を送れるよう努めている。現在は、入居者様の重度化が進み医療面に特化してきている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリング3か月に1回、ケアプラン6か月に1回作成している。今後状態が安定している利用者は、1年に1回作成予定。</p>	<p>介護支援専門員が利用者、家族の意向を丁寧な対応で聞き、アセスメントを行い、多職種の意見や提案を反映した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回、介護計画は6ヶ月毎に作成している。健康状態に変化があれば、関係者と話し合い、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>業務日誌や個人記録、支援経過を活用しながら行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>できる限り要望を取り入れるよう努めている。嗜好品などは、健康面を考慮しながら提供している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源の情報獲得手段の1つとして介護保険課のメールを確認している。その中で研修、支援物資、補助金等ができる限り活用して、入居者様の生活の質の向上を図っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>発熱や異変時にご家族、Dr. に報告し迅速に対応している。</p>	<p>従来のかかりつけ医の紹介状で殆どの利用者が協力医療機関をかかりつけ医としている。2週間に1回の往診がある。協力医療機関の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士などの専門リハビリ受診も可能である。常駐の看護師が午前と午後に医師に指示を仰ぐなど緊急時や夜間対応も整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	朝と夕の申し送りや個別入居者様の様子一覧を出勤者は、確認している。入居者様の日常の変化を常勤看護師に都度報告している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際情報を病院に提供し、入院時の状態の変化や予定を病院関係者より情報を得るように努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師に相談し、ご家族の意向を聞きながら取り組んでいる。	契約時、「重度化した場合における対応の係わる指針」「急変時に対応についての事前確認書」を説明確認をしている。看取りは医師から説明し、家族に確認を行い、介護計画を作成し、多職種で方向性を決め、連携を図り家族に寄り添い、穏やかに最期を迎えられるよう研修を行い、チームで支援に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	月1回の会議で確認している。夜勤者には、急変時マニュアルで急変時に対応できるよう指導している。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練の実施をしている。ハザードマップを貼り危険区域を把握している。	マニュアルを作成し、年2回(6.11月)夜間想定した訓練や危険区域を把握して、水害時想定訓練を実施している。BCP事業継続計画の策定を検討している。	



自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様1人ひとりに人生があり、スタッフは、その人生の援助をする関係であること忘れないように指導している。	研修や毎月のミーティングで不適切ケアや誇りやプライバシーを損なう言葉かけをしていないか話し合い、指導をしている。節度を持ち否定する事なく、選択肢、自己決定ができる支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	基本的な1日のスケジュールは、ありますが、入居者様のペースを尊重して個別に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	「ともに笑い、ともに泣き、安らぎと信頼のもと、楽しく明るく、自分らしく生活できるように、お手伝いさせていただきます」の事業理念をスタッフと共有して利用者主体の介護を目指している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	夜間は、パジャマ、日中は、普段着をきて生活にメリハリができるように努めている。本人の好きだった色、服装を尊重している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は、外部委託の為、好き嫌い、アレルギー、禁止食をあらかじめ聞いて対応している。他に食べたいものがあれば購入している。重度化とコロナの為に入居者様と職員と一緒に準備や食事、片付けをしていない。	食事は3食外注業者である。利用者一人ひとりの食事形態に合わせ柔軟に対応している。協力医療機関の言語聴覚士によるアドバイス体制もあり、ゆっくりと食を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	管理栄養士が献立を作成しているの で、出来ている。水分は、嗜好品やス ポーツドリンク等を提供し1日の摂取 量を看護師と共に把握している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないよう 、毎食後、一人ひとりの口腔状態や 本人の力に応じた口腔ケアをしてい る。	経管栄養の方は、嘔気などにつながる 為経管栄養前に行っている。経口摂 取の方は、行っている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし 、一人ひとりの力や排泄のパターン、 習慣を活かして、トイレでの排泄や 排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者様の重度化の為困難になっ ているが、排泄パターンを把握し、 入居者様が出来ることを活用して 行っている。	バルーンカテーテル使用の利用者が 多く看護師配置で医療的ケアの対 応を必要としている。排泄パターン を把握し、トイレ誘導をしている。 歩行できる利用者は手引き歩行で トイレでの排泄支援をしている。車 いすで生活ができる利用者はおむ つを使用せず、できるだけリハビ リパンツを使用している。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、 飲食物の工夫や運動への働きかけ等 、個々に応じた予防に取り組んでい る。	入居者様の重度化の為、下剤、G 浣での排便を促している。牛乳など の乳製品で自然排便できる入居者 様には、取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて入浴を楽しめるように、職 員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々に応じた入浴の 支援をしている。	週2回曜日を決めて行っている。そ の他衣類汚れ等で急遽入浴すること もある。個別に要望があれば入浴 できる。	週2回午後浴で無理強いせず、2 ～3名柔軟な対応で入浴支援をして いる。家庭用浴槽で手すりなど福祉 用具を設置している。重度化で立 位が困難なため2人介助で安全面 や不安感のないよう支援している。 温度管理や浴槽内に保湿剤を入れ 、入浴後は保湿液を塗布し、乾燥 肌や皮膚トラブルに配慮した支援 をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者様の要望に合わせて離床、臥床をしている。意思表示が難しい入居者様は、無理のないように食後臥床、摂取時離床をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬状の確認をしている。日に数回のバイタル測定をして、体調の変化に気を付けて異変あればすぐに看護師に報告している。その他抗生剤や下剤を業務日誌の個別欄に記入して把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	脳トレ、カラオケ、嗜好物の購入、要望に合わせてできる範囲で行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族に本人の意向を伝えたり、近くであれば散歩を行っている。利用者の重度化の為、頻度は、あまりない。	新型コロナウイルス感染症予防対策や利用者の重度化で日常的な外出支援は出来ていない。その中で、天気の良い日は少人数で近隣を職員と一緒に散歩に出かけ、外気に触れている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に利用者本人での金銭管理は、行っていない。預り金から本人要望のものをご家族の許可のもと購入している。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	支援している。オンライン面会を導入してご家族にも活用をお願いしている。現在1名の入居者様が携帯電話を所持して本人の意思で電話している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室温調整、清潔に保つように心がけている。	室内の空調管理、換気、掃除が行き届き清潔が保たれている。時計やホワイトボードに職員による季節の飾り付けや今日の献立メニューを書いている。車いすで移動する際、支障のないように机や椅子、ソファを配置し、適度な明るさと窓からは家並みや山が見えるなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファと小さめの丸いテーブルを少し離れた場所に設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族との写真、誕生日のメッセージカード等思い出のあるものを置いている。要望のあるものは、危険がない限り置くようにしている。	居室入り口にカレンダーの風景画を利用した名札や猫好き利用者は猫の絵の名札を飾っている。居室内は家族の写真や使い慣れた物、思い出の品物が置かれ、思い思い居心地よく過ごせるよう工夫している。床ずれを防ぐエアマットを使用している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	努めている。利用者の重度化の為行える利用者は、少ないが、使いやすよう工夫をしている。居室のネーム、トイレへ誘導矢印等		

V アウトカム項目(2F) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「ともに笑い、ともに泣き、安らぎと信頼のもと、楽しく明るく、自分らしく生活できるように、お手伝いさせていただきます」の事業理念をスタッフと共有して利用者主体の介護を目指している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の催し（JA祭り、案山子祭り、ゲタリンピック）に参加して、花火大会を開催する時は、地域の住民に参加を呼びかけている。現在は、コロナ対応により外部との接触を控えている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議にて地域住民の自治会長を通じて認知症利用者の介護について意見交換をしている。現在は、コロナ対応により外部との接触を控えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	情報交換をし、社会の情勢（コロナなど）を聞いて参考にしたり、当施設の取組みを紹介をしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	新しい情報などメールの中でわからないことは、直接電話で聞いたり、当施設で新しい取組みをするときには、助言をもとめている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	取り組んでいる。月1回会議の中で検討会をして個別利用者への対応を議論している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	声掛けの仕方、些細なことがエスカレートしていくと思われるので、お互いに自制できる環境作りと指導を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用できる入居者がおらず、活用に至っていないが、勉強会で情報を共有している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	行っている。質問や疑問については、都度受け付けている。毎月ご家族あてにお手紙を送付している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居時に苦情、要望についての当施設連絡先と市への連絡先を明記している。		



自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回ミーティングの他その状況が発生したときに都度検討している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	子育て、親の介護に理解を示し希望休や勤務変更、勤務時間の変更をしやすい環境を整えるよう努めている。資格取得の為の援助がある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回の勉強会を事業所内で行っている新規職員には、教育係をつけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	福山西部包括支援センターの催し、研修等に参加し、同業者と意見交換をしている。それらを持ち帰り月1回の会議で共有している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時に新しい環境に対する不安や要望、前施設での様子、自宅で困っていたこと、健康状態など具体的に聞き取りを行いケアプランを作成している。入居者様の変化をスタッフ間で申し送り等で共有するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者様の入所前のご様子や困っていること等ケアマネとの面談で行っている。入居後は入居者様の御様子を毎月のお手紙で伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	歯科往診、リハビリ、散髪等他サービスができる範囲で対応できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者の重度化で困難になっているが、一緒にゲーム、作業をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、衣替えをお願いしている。コロナ中の為オンライン面会をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会禁止の状況が続いているので、ご家族やご親せきとの面会ができるようオンライン面会を導入している。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の重度化の為困難になっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後の相談など現在ないため行っていないがいつでも行う準備はある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族に要望を聞き都度できる限り行えるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時生活歴を聞いて取り組めるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	会議などで話し合いその人に即した生活を送れるよう努めている。現在は、利用者の重度化が進み医療面に特化してきている。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	3か月に1回作成している。それに限らず状態に変化あれば作成している。今後安定している利用者は、6か月に1回作成予定。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	業務日誌や個人記録、支援経過を活用しながら行っている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	できる限り要望を取り入れるよう努めている。嗜好品などは、健康面を考慮しながら提供している。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源の情報獲得手段の1つとして介護保険課のメールを確認している。その中で研修、支援物資、補助金等をできる限り活用して、入居者様の生活の質の向上を図っている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	発熱や異変時にご家族、Dr. に報告し迅速に対応している。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	朝と夕の申し送りや個別利用者の様子一覧を出勤者は、確認している。利用者の日常の変化を常勤看護師に都度報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際情報を病院に提供し、入院時の状態の変化や予定を病院関係者より情報を得るように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師に相談し、ご家族の意向を聞きながら取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	月1回の会議で確認している。夜勤者には、急変時マニュアルで急変時に対応できるよう指導している。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練の実施をしている。ハザードマップを貼り危険区域を把握している。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様1人ひとりに人生があり、スタッフは、その人生の援助をする関係であること忘れないように指導している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	基本的な1日のスケジュールは、ありますが、入居者様のペースを尊重して個別に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	「ともに笑い、ともに泣き、安らぎと信頼のもと、楽しく明るく、自分らしく生活できるように、お手伝いさせていただきます」の事業理念をスタッフと共有して利用者主体の介護を目指している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	夜間は、パジャマ、日中は、普段着をきて生活にメリハリができるように努めている。本人の好きだった色、服装を尊重している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は、外部委託の為、好き嫌い、アレルギー、禁止食をあらかじめ聞いて対応している。他に食べたいものがあれば購入している。重度化とコロナの為入居者様と職員と一緒に準備や食事、片付けをしていない。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士が献立を作成しているの、出来ている。水分は、嗜好品やスポーツドリンク等を提供し1日の摂取量を看護師と共に把握している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	経管栄養の方は、嘔気などにつながる為経管栄養前に行っている。経口摂取の方は、行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者様の重度化の為困難になっているが、排泄パターンを把握し、入居者様が出来ることを活用して行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	入居者様の重度化の為、下剤、G浣での排便を促している。牛乳などの乳製品で自然排便できる入居者様には、取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回曜日を決めて行っている。その他衣類汚れ等で急遽入浴することもある。個別に要望があれば入浴できる。		

自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者様の要望に合わせて離床、臥床をしている。意思表示が難しい入居者様は、無理のないように食後臥床、摂取時離床をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬状の確認をしている。日に数回のバイタル測定をして、体調の変化に気を付けて異変あればすぐに看護師に報告している。その他抗生剤や下剤を業務日誌の個別欄に記入して把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	脳トレ、カラオケ、嗜好物の購入、要望に合わせてできる範囲で行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族に本人の意向を伝えたり、近くであれば散歩を行っている。利用者の重度化の為、頻度は、あまりない。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に利用者本人での金銭管理は、行っていない。預り金から本人要望のものをご家族の許可のもと購入している。		



自己評価	外部評価	項目( 3F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	支援している。オンライン面会を導入してご家族にも活用をお願いしている。現在1名の入居者様が携帯電話を所持して本人の意思で電話している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室温調整、清潔に保つように心がけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファと小さめの丸いテーブルを少し離れた場所に設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族との写真、誕生日のメッセージカード等思い出のあるものを置いている。要望のあるものは、危険がない限り置くようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	努めている。利用者の重度化の為行える利用者は、少ないが、使いやすい工夫をしている。居室のネーム、トイレへ誘導矢印等		

V アウトカム項目(3F) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム敬愛

作成日 令和5年3月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の一人ひとりの気持ちやケアに対する意識の向上に対する取り組みに改善の余地がある。	一人ひとりのケアの向上。	定期的な個別面接の方法を学習し実施する。	1年
				新人研修をマニュアル化し指導できる人材をつくる。	1年
2	35	BCP（業務持続計画）の策定。	BCPの策定。	BCP研修への参加、この施設や地域に即した実際に必要な行動や物資の検討。	1年
3	4	地域との連携。	運営推進会議の充実。	運営推進会議を通じて災害時に備えるための研修や訓練の呼びかけ。	1年
				運営推進会議を通じて多職種との意見交換や情報交換。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。